

ワールド・インテリジェンス・ネットワーク（WIN）

協会規定

(2008年1月12日より有効)

記載内容

序文

第1章－組織

第2章－目的

第3章－会員

第4章－役員

第5章－交流方法

第6章－委員会

第7章－WIN規約の改定または訂正

序文

高度な知的能力を持つ人々のための世界的な組織の設立として、ここにWINの協会規定を制定する。この規約は2008年1月12日の時点で、全ての改正と訂正を受け入れる。

第1章 組織

第1条. この組織の正式名称は「ワールド・インテリジェンス・ネットワーク」であり、正式な表記は「WIN」もしくは「WIN組織」が使用される。

第2条. WINは基本的に教育的で科学的な意図を目的とした意見と体験を共有する非営利組織である。しかしながら、WIN運営委員会に承認された場合、政府や企業や組織の特殊な活動のために商用目的とした活動が行われる場合もある。

第3条. 現時点で、WIN組織に対する義務的な会費は存在しないが、それぞれの加盟団体は、会員に対して自由に会費や活動費を要求できる権利がある。また、会員はWINに対して自発的な献金や寄付金をすることができる。WINが活動上において、会員に対する会費の義務の必要性は、WECによって審査される。活動費の割り当ては、WIN会議において、全ての会員の投票によって決定される。

第4条. WINの総本部は、現在の会長のメールアドレスである。管理用もしくは業務用の用件は、それぞれの適切な部署の個人アドレスへ割り当てられる。

第5条. 主な交流方法は、電子メールとWIN掲示板または、MSNのWINコミュニティを通じて行われる。独立した活動やプロジェクトは、それに伴い適切な方法で行われる。実生活の会議も可能な限り範囲で行われる。

第6条. 意思決定は基本的にWIN掲示板内での投票と議論を通じて行われる。もしくは、特殊な委員会を設置して、必要性が生じたときに毎年数回のオンライン会議も開催される場合がある。これらの委員会は会議に外部参加者を招くことも可能である。WEC会員がこの提案を受け入れたとき、WIN会員はWEC会議に参加することができるが、外部参加者には投票権と決定権の権限はないものとする。

第7条. 投票と選抜はオンライン会議もしくはWIN掲示板を通して行われる。投票は、最低でも3人以上でなければ無効とみなされる。会議内では、「過半数」という意味は50%より上を意味し、「3分の2」は66%より上を意味する。(WEC会議ではWEC会員だけが投票できる)

第2章 一 目的

第1条. 主な目的は、様々な興味深い話題について、会員同士の意見と経験を共有することである。さらに、関心のある非会員との交流も、WINEST(WIN外部参加者)を通じて歓迎される。

第2条. WIN組織と加盟している高IQ団体は、いかなる宗教や、人種、国家、文化、及び政治的意見について関与しない。

第3条. 会員は能力と興味に応じて、特殊な期間限定の活動以外の、全て会議と活動への貢献と参加が歓迎される。

第3章 一 会員

第1条. WIN組織内の団体の会員権は、WINに加盟している高IQ団体によって許可される。

第2条. WINに加盟している高IQ団体は、それぞれの独立した内部規定と方向性を持つことができるが、その規定内容はWIN規定の内容と矛盾してはならないとする。WINは全ての加盟団体の活動内容、行事、もしくは意思決定を見守り、他のWIN団体とWINの基本方針に悪影響を及ぼすと判断される行為を監視する。

第3条. WIN設立時(2001年1月1日)において、最初の3つの団体はCIVIQとHELLIQとOLYMPIQである。

第4条. WINが設立されてから、2004年3月に加盟された団体はPARSであり、同年5月に加盟された団体はGIGAである。2005年7月にはEPIQが、2006年6月にはISI-Sが加盟し、2007年3月にはCOLLOQUYが加盟した。

第5条. WIN組織の会員権は、WINに加盟している高IQ団体の全ての会員に対して自動的に許可される。

第6条. 「外部参加者」という特殊な地位が用意されている。これは、WINに加盟している高IQ団体の会員でない人物で、WIN委員会の一つに専門家として、参加することが許可される者のことである。

第7条. 「名誉会員」という特殊な地位が用意されている。これは、WIN組織の外部活動で、人類とWINの進歩に多大な貢献を成し遂げた業績を持つ人物に対して許可される。「名誉会員」はWECの決定によって承認される。

第8条. 全ての会員は、WIN掲示板とWINのMSNグループに参加することができ、分離されて領域においては、それぞれの高IQ団体の掲示板と広場に参加できる。

第9条. 全ての会員は、交流や活動の参加にあたり、互いの尊厳を守り、基本的な規律に従うこと。不適切な行為が発覚した場合、WEC会員の2人以上から、その会員に対して警告が言い渡される。不適切な行為が繰り返された場合、WECは一時的もしくは永久的に、その会員を除外もしくはアクセス不可の状態にすることができる。。

第4章 役員

第1条. 役員権は、WINに加盟されている団体の全ての役員に適用される。]

第2条. WIN委員会の会員は、WIN内に役員権を持つ。

第3条. WIN掲示板の権限者と管理者は、WIN内において役員権を持ち、WIN委員会においてインターネット役員のようにWIN団体内において、他の役員の職務を持つ。

第4条. WECの会員は、WINに加盟している高IQ団体の会長と副会長から選抜される。会長が2人いる場合、その両方がWECに選抜される。副会長が複数の場合、その中の1人だけが、WECに選抜される。最大で2人だけが、WECに選抜される。

第5条. WECの会員は、WIN委員会の監督者とする。監督者が2人いる場合、両方ともWECの会員とする。

第6条. WINに加盟している高IQ団体の役員は、一年に一度の選抜で承認される。それらの役員は加盟している高IQ団体の会員から選抜される。この選抜が受け入れるまでに、特殊な条件を除き、その役員は次の選抜の前に辞職しなければならない。そのために、加盟団体会長と副会長の決定は、一年以内に行われなければならない。

第7条. 監督者と同じように委員会の会員は、毎年選抜で承認される。委員会の会員は、WECによって提案される。しかしながら、WIN会員であれば誰でも、WIN掲示板内もしくはWECに直接提案することができる。委員会役員(管理者または副管理者)は、関係している委員会によって選抜され、WECによって承認される。選抜されるにあたり、その委員会の会員と役員は、特殊な場合を除き、次の選抜の前に、その職を辞退しなければならない。この理由から、その委員会の役員は、毎年開催される新選抜の必然性について、WECの同意について決定される。

第8条. WINに加盟している高IQ団体の会長と役員と同様に、WIN役員選抜については、過半数を越えた場合に限り有効と見なす。WINの全ての会議の意思決定について、この規定が適用される。投票は、一人につき一票として数えられ、一つの団体につき一票ではない。全てのWIN会議において、WINに加盟している高IQ団体は、同一人物が複数の事務を担当する場合、全てのWIN委員会は少なくとも委員会の会員もしくは団体の一人の役員が代表となる。もし役員でない会員が団体を代表した場合、関係している決断を承認しなければならない。全ての会議において、意思決定に有効な最低参加人数は3人とする。

第9条. WINの会長と副会長は、WEC会員によって毎年開催されるWEC会議で3分の2の承認を得なければならない。WIN創設者のエヴァンゲロス・カツイオウリスは、初代WIN会長である。もしWINの会長と副会長に他の会員が就任した場合、創設者は名誉会長としてWINに留まり、WECの会員権を保持することができる。もし片方の会長権が創設者でない場合、会長候補は最低でも一年間は、会長選挙のためにWECに貢献しなければならない。しかしながら、その会員がWECに参加する以前に、WIN会員の3分の2に承認された場合、その会員は会長もしくは副会長に候補して選抜されることができる。全てのWIN会員は、いくつかのWIN会員もしくはWEC会員のために会長もしくは副会長に立候補と投票権が与えられる。しかしながら、WECの3分2が、それらの投票を承認しなければならない。WINの会長と副会長は、可能な限りにおいて、この役割を持たなければならない。名誉会長ではなく、選抜された会長は、WIN組織の公共と運営的な権限を持つ。

第5章 — 交流方法

第1条. WINのウェブサイトは、www.IQsociety.org に公開される。

第2条. WIN掲示板 (www.iqsociety.org/boards) は議論、会議、投票、適切な交流が行われる主な交流方法である。WIN掲示板は、全てのWIN会員のための観覧と書き込むが可能となっているが、いくつかの領域では、関係者限定の広場がある。役員と委員会とWECと加盟している全ての高IQ団体のためにそれぞれの独立した部門を設けている。WIN掲示板内のWINEST部門では、非会員のためにも開かれている。非会員はWINEST部門内において登録と閲覧と書き込みができる。

第3条. 適切な交流方法は、WINのMSNグループであり、主にチャットファイル閲覧のために使用される。WINのMSNグループは、全てのWIN会員に対して開かれている。WINに加盟しているそれぞれの高IQ団体はそれぞれの委員会と役員とWEC会員は、それぞれのMSNグループを持つことができる。

第4条. 巨大なファイルの場合、CIVIQヤフーグループが使用される。

第5条. その他の交流方法は、電子メール、電話、手紙が適切な状況に応じて使用される。

第6章 委員会

第1条. WIN心理測定委員会(WPC)は、博士号を持つ心理学者、精神科医、心理測定士から形成され、新会員の入会申請と並びに、心理測定に関しての全ての事柄について関与する責任がある。

第2条. WIN公共関連委員会(WPRC)は、WINに加盟している高IQ団体の会長と副会長と入会案内者から成る。さらに、WINONEの編集者と、WPRCの管理者も、会員である。この委員会の本業内で訓練され動機のある他のWIN会員も選抜されることが可能である。WPRCの義務は、主に内部もしくは外部の交流と公共関連に関わるものである。

第3条. WINウェブ委員会は、WINに加盟している高IQ団体のインターネット役員から成り、情報技術、コンピューター、ウェブデザイン、ソフトウェアの専門家でもある。WWCの義務は、全てのコミュニケーション方法のために最適な環境を供給することである。その監督者、もしくは共同監督者の内のどちらかが、WINに加盟している高IQ団体内の中で、インターネット役員であるべきである。

第4条. WIN管理委員会(WEC)は、WINに加盟している高IQ団体の会長と副会長から成る。会長が2人いる場合、その2人がWEC会員となる。さらに、委員会の監督者はWECの一部であり、共通監督者が2人いる場合、その両方がWEC会員である。WIN会長とWIN副会長とWIN名誉会長は、WECの会員である。WEC会議の組織的な貢献において、会長と副会長と名誉会長は、全てのWEC会員のように、意思決定と議題に参加と投票を行う。WECはWIN組織内の管理機関であり、WIN会長によって統括されている。

第7章－WIN規約の改定と訂正

第1条. WIN組織の運営において、必要性や利点があると判断された場合に限り、WIN規約は訂正もしくは改定される。

第2条. いかなるWIN会員(WINに加盟している高IQ団体のどの会員、もしくは加盟団体)でも、会長に対して改正もしくは訂正を提案することができる。

第3条. 改正もしくは訂正はWECの3分の2以上の承認を得なければならない。WEC会員は、WEC会議において、WEC掲示板内のWEC部門で、決められた期間内において、投票によって会長にその意向を示すこと。

2008年1月12日の時点で、WIN管理委員会によって承認された。

www.IQsociety.org